

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	専攻科海外研修
科目基礎情報						
科目番号	5006		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築・都市システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	なし					
担当教員	A C 全					
到達目標						
(1) 海外における研修への積極的な参加を通じて、教養をより高めるための取り組みができる。 (2) 異文化の中での研修に参加することで、広い視野を持つことができる。 (3) 現地で関わる人々と英語などを用いてコミュニケーションができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	海外における研修への積極的な参加を通じて、教養をより高めるための取り組みが良くなる		海外における研修への積極的な参加を通じて、教養をより高めるための取り組みができる		海外における研修への積極的な参加を通じて、教養をより高めるための取り組みができない	
評価項目2	異文化の中での研修に参加することで、広い視野を持つことができる		異文化の中での研修に参加することで、広い視野を持つことができる		異文化の中での研修に参加することができない	
評価項目3	現地で関わる人々と英語などを用いてコミュニケーションが良くなる		現地で関わる人々と英語などを用いてコミュニケーションができる		現地で関わる人々と英語などを用いてコミュニケーションができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	海外における各種の研修体験を通じて、多面的に物事を考える能力やコミュニケーション能力を身に付けることが本科目のねらいである。研修期間は、夏季休業期間などとしてもよい。研修日数は、10日間以上とする。本科目は、海外での研修と、事前指導(マナー教育、研修先の下調べ)、事後の報告会、関係機関に配布する報告書の作成などの自己学習時間の合計が、90時間以上に相当する学習内容である。参加する研修が、本科目に該当するかどうかは、専攻科委員会にて判断する。					
授業の進め方・方法						
注意点	専攻主任又は指導教員と緊密に連絡を取り合うこと。研修期間中は、積極的に現地の人たちと関わり、コミュニケーションをとるように努めるとともに、服装・言葉遣い等、研修生として相応しい態度で取り組むこと。合格の対象としない欠席条件(割合) その他					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	履修上の注意・実習先でのマナーなどの注意を行う。		
		2週	実習	海外の実習先において個別の技術体験を行う。		
		3週	同上	同上		
		4週	同上	同上		
		5週	同上	同上		
		6週	同上	同上		
		7週	同上	同上		
		8週	同上	同上		
	2ndQ	9週	同上	同上		
		10週	同上	同上		
		11週	同上	同上		
		12週	同上	同上		
		13週	同上	同上		
		14週	同上	同上		
		15週	同上	同上		
		16週	期末試験実施せず			
後期	3rdQ	1週	同上	同上		
		2週	同上	同上		
		3週	同上	同上		
		4週	同上	同上		
		5週	同上	同上		
		6週	同上	同上		
		7週	同上	同上		
		8週	同上	同上		
	4thQ	9週	同上	同上		
		10週	同上	同上		
		11週	同上	同上		
		12週	同上	同上		

		13週	同上	同上			
		14週	同上	同上			
		15週	発表会	実習成果の総合的な発表を行う。			
		16週	期末試験実施せず				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0